

# 琉球大学学術リポジトリ

原稿：南洋群島パラオ及びジャップの貨幣

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/38005">http://hdl.handle.net/20.500.12000/38005</a>

# 矢内原忠雄文庫

史料名	論文原稿「南洋群島パラオ及びヤップの貨幣」
封筒番号	185
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成17年11月10日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

# 矢内原忠雄文庫

封筒番号：185

史料名	論文原稿「南洋群島パラオ及びヤップの貨幣」
資料形態	B4原稿用紙
枚数	2
页数	2
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 朱書きあり  今泉分類記号：Y



多分、未開土人  
 社会に於ける貨幣の  
 起源と機能と性質  
 について、著者とは  
 幸ひである。

本稿引用の主要な  
 参考文献は左の如し。尚

(本稿は大平洋内閣調  
 査会、理事、理事、理事  
 の経手したる、南洋  
 群島研究の一部たる  
 ものである。)

諸島の諸現象を、経済学的意義を概観し、その容  
 易ならざるは、ブユツヒヤ一の嘆じて居る如  
 くであつて (Bücher, K. Die Entstehung der  
 Volkswirtschaft. Bd. I. ss. 38. 82. 権田氏譯五〇頁  
 一〇七頁) パラオ及びヤツプ貨幣の社會的  
 経済的意義に就ては未だ十分なる究明を見な  
 いのである。余は南洋群島研究の一部として、  
 この問題に注意を惹かれたるを以て、上述著  
 者の記録に置いたる資料と、余自身一九三三  
 年夏パラオ島、一九三四年夏ヤツプ島に於て

何れも十数日の僅少なる滞在ではあつたが在  
 住邦人及び多数島民に就て自ら見聞したる事  
 實とに基きて、右西島の貨幣に就て、  
 若干の考察を加へて見ゆ。パラオ貨幣に關しては、  
 特に日本統治以前から久しく同島に滞在せ  
 る南洋貿易會社職員宮下氏の談話に負ふ処少  
 くない。本も資料不足と事實不明との爲めに  
 論及の盡し難き處あるは自ら遺憾とする処  
 であるが、多分なりとも未開土人社会に於て  
 貨幣の起源と機能とに關し、経済學者若くは